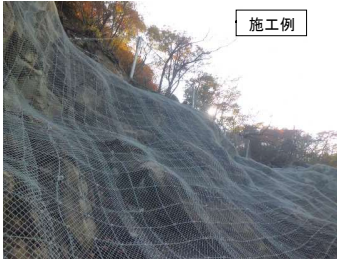
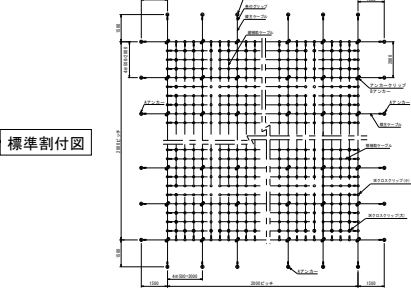
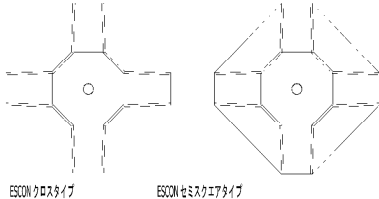








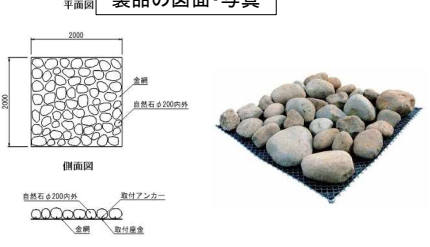

1. 基準適合情報

分類1	分類2	No.	登録NO	概要図	新技術の概要	
			新技術の名称		比較対象技術	
			申請者名		適用範囲(比較検討の対象とする条件)	
共通工	法面工	1	1702013B		<p>本工法は、浸食や表層崩壊を抑制し植生が定着しにくい法面を緑化する客土注入マット工法である。従来、法枠工と植生基材吹付工の兼用で緑化をしていた法面に本工法を適用し浸食に強いマットにより安定した基盤を造成することにより法面の表層安定を確保し自然復元を図る。</p>	
			フォレストエコマット工法		植生基材吹付工	
			(有)エコプロ		<ul style="list-style-type: none"> ・岩盤法面のように、土壌が無く植生基盤の安定や保水性の確保が困難となる法面の緑化。 ・シラス・マサ土・砂質土の様に流化水による浸食を受けやすい法面の緑化。 ・災害発生後の早期に復旧が必要な崩壊斜面。 	
	法面工	2	1702014B		<p>プランツソイル工法は、基盤材が痩せにくく、浸食防止材も永く持ち、緑化困難地でも恒久的に緑化できる工法です。</p>	
			プランツソイル工法		植生基材吹付工	
			(有)エコプロ		<p>1、岩盤 2、急勾配(1割より急勾配地) 3、pH異常地 4、沿岸地 5、表層風化しやすい土壌(粘土、シラス等々)</p>	
	法面工	3	1801017B		<p>金網・ヤシ繊維ネット・植生マットによる三層構造を一体化させた工法である。人力のみで施工が可能であり、施工初期の表流水や積雪・凍上に対して抑制効果をもった工法である。多構造になっているため、保温性に優れ、雨水による浸食防止効果にも優れたマットである。</p>	
			かまくらマット肥料袋付植生マット工		植生基材吹付工(t=3cm)	
			九州日植(株)		<ul style="list-style-type: none"> ・土壌硬度: 30mm以下、法面勾配1:0.5まで ・施工初期の風化侵食が激しい箇所 ・吹付機械などを容易に設置できない道路法面や山腹工での施工箇所 ・小面積の施工 	

1. 基準適合情報

分類1	分類2	No.	登録NO	概要図	新技術の概要
			新技術の名称		比較対象技術
			申請者名		適用範囲(比較検討の対象とする条件)
共通工	法面工	4	1901010B	 <p>施工例</p>  <p>標準割付図</p>	<p>斜面に点在する浮石や転石の上からケーブルを格子状に設置し、斜面上で初期移動が起きない様にして落石の発生を未然に防ぐ工法である。ケーブルサイズもφ12~φ18と適用範囲も広く、比較的大きな対象まで対策する事が可能である。なお、SK厚ネット仕様はネット内に土を堆積させ自然緑化も期待できる。</p>
			ケーブルネット・SK厚ネット工法		現場吹付砕工法(梁断面300×300)
			神鋼建材工業(株)		<ul style="list-style-type: none"> 起伏が激しい自然斜面においても、立木の有無にかかわらず施工が可能である。 浮石や転石が点在する斜面(勾配1. 1~1: 0. 3)の落石対策に効果が高い。
		5	2202001B	<p>●受圧板の形状</p>  <p>ESCON クロスタイプ ESCON セミスクエアタイプ</p>	<p>超高強度合成繊維補強コンクリート(ESCON)と鉄筋を組み合わせたRC構造で、軽量かつ高耐久性を有したグラウンドアンカー工法用プレキャストコンクリート反力体である。</p>
			ESCON受圧板	プレストレストプレキャストコンクリート製受圧板	
			(株)エスイー九州支店	<ul style="list-style-type: none"> 標準形では、設計荷重Td=800kN以下、受圧板大きさ1.9m,2.35m,2.85m、受圧面積a=1.74m²~5.18m²となる。 全てのグラウンドアンカー工法との組み合わせが可能である。 	
	6	2301001B	<p>AS345-Pボルト製品組み合わせ例</p>  <p>AS345-Pボルト</p>	<p>本技術は、溶融亜鉛めっきとPVB塗装による二重防錆により耐久性を向上させたロックボルトである。従来技術のシーソおよび溶融亜鉛めっきによるロックボルトに比べ、耐久性および経済性、施工性の向上が期待できる。</p>	
		PVB樹脂塗装ロックボルト(AS345-Pボルト)	シーソおよび溶融亜鉛めっきによるロックボルト		
		岡部(株)土木事業部 西部営業部 九州営業部	<ul style="list-style-type: none"> ロックボルト長が6.0m以内の場合 地山補強土工の鉄筋挿入工 湧水や浸透水の多い箇所における鉄筋挿入工 腐食が激しい環境下における地山での鉄筋挿入工 		

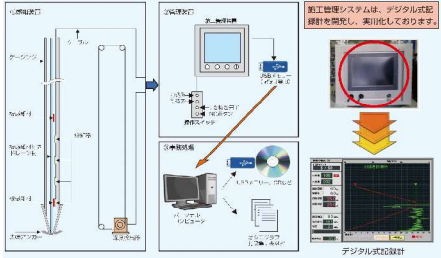

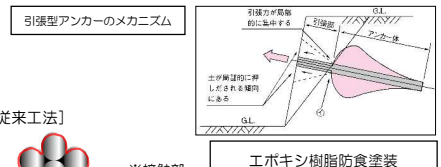
1. 基準適合情報

分類1	分類2	No.	登録NO	概要図	新技術の概要
			新技術の名称		比較対象技術
			申請者名		適用範囲(比較検討の対象とする条件)
共通工	法面工	7	2302001B	<p>工法概要</p> <p>1. 工法概要</p> <p>BSCは植生遷移初期に見られる現象です</p>  <p>【植生遷移図】</p> <p>BSCはこの段階で自然に形成されるものです。BSCの形成が自然な植生遷移のスタートになります。</p> <p>BSCを形成する土壌藻類は、最初に侵入するパイオニア</p> <p>特長</p> <p>2. 特長 簡単に法面成形なしでも施工が可能</p> <p>BSC主要藻類種の土壌藻類を資材化し、吹き付けてBSCを早期形成する</p> <p>適用例</p> 	<p>本技術は、崩壊斜面、工事による荒地やのり面に吹付けるための土壌藻類資材である。従来は人工素材で対応していた。本資材の活用により、自然状態では時間を要する裸地面等への土壌藻類の被覆を早期に形成させて土壌侵食を防止し、植生の自然侵入を促進する。</p> <p>客土吹付工(種子なし、緑化基礎工あり)</p> <p>基本的に藻類・コケ類等の植物が付着・生育する環境であれば、勾配に関わらずどこでもBSCを形成する。ただしその後の草本・木本の植生侵入のためには、基本的に道路土工 切土工・斜面安定工指針が示す1:0.5(60°)以下の勾配で土壌硬度30mm未満の粘性土および砂質土であることが必要。</p>
			<p>侵食防止及び植生の自然侵入促進をはかる土壌藻類資材</p>		
			(株)クロスタニン福岡		
	擁壁工	8	2401001B	<p>受圧板の状況</p> 	<p>切土法面等に亜鉛・アルミニウム溶射を施した軽量の鋼製フレームを用いた工法である。従来のプレキャストコンクリート受圧板より軽量であり、施工ヤードが狭小な箇所においても施工が可能となり施工性の向上を図ることができる。また全面緑化が可能であるため、自然環境との調和及び景観に配慮した工法である。</p>
				<p>施工写真</p> 	<p>プレキャストコンクリート受圧板</p>
				<p>緑化の状況</p> 	<p>切土法面、地すべり、急傾斜地等のグラウンドアンカーの採用される全ての案件に適用が可能。全面緑化が必要な現場などでは特に効果を発揮できる。オーバーハングした法面や接地面の整形が困難な斜面には適用不可である。</p>
擁壁工	9	2302002B	<p>製品の図面・写真</p> 	<p>本技術は、自然石を基盤材の金網に接着剤またはアンカーで一体化させた自然石固着金網の緩勾配護岸工法であり、従来は練石張護岸工で対応していた。本技術の活用により、水辺の生態系保全を可能にし、施工性及び経済性が向上する。また、覆土を行うため、植生回復が実現できる。</p>	
			<p>施工事例</p> 	<p>練石張護岸工</p>	
			<p>環境工学(株)福岡営業所</p>	<p>設計流速・法勾配及び設置水深によって適用できる範囲が異なるため、現場状況に応じて安定検討を行う。適用可能な最大流速は6.5m/s程度。法勾配1:2.0、設計水深5.0mの場合の適用可能な最大流速は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 標準タイプ(200型): 4.8m/s、300型: 5.5m/s、350型: 5.8m/s) 	

1. 基準適合情報

分類1	分類2	No.	登録NO	概要図	新技術の概要	
			新技術の名称		比較対象技術	
			申請者名		適用範囲(比較検討の対象とする条件)	
共通工	排水 構造物工	10	2102002B	 <p>エンドレンマットリブ型</p> <p>高密度ポリエチレン製のリブ型構造体を、不織布(おひし不透水シート)でくるんだ板状排水材です。盛土内水平排水工や構造物裏込排水工等において、効果を発揮します。</p> <p>■用途</p>  <p>盛土内排水工 構造物裏込排水工</p>	本技術は、高密度ポリエチレン製のリブ型構造体を透水フィルターでくるんだ板状排水材(エンドレンマットリブ型)である。従来は、盛土内や構造物背面の排水層として透水性の良い砕石が適用されていたが、本技術の活用により砕石30cm厚さ相当以上の排水能力を持つ排水層を経済的に設けることができる。	砕石(C-40)を用いた盛土内水平排水層
			前田工織(株) 福岡支店		・盛土内排水、グラウンド排水、擁壁・カルバートなどの構造物裏込排水等。	
			2301002B		 <p>可変タイプ製品</p>	路面露出部を最小限とすることで、路側部における二輪車の安全な走行性と景観性に優れた道路空間を構築できるスリット側溝であり、二輪車の走行空間である路肩の平坦性の向上、滑りにくい路面構築により、二輪車の安全な走行を可能とする技術。
		11	スラッと側溝	 <p>製品施工完了例</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・T-25縦断走行の道路用側溝 ・規格通水断面において流量が満足する場所 ・車道端部路面について二輪車の安全性を向上させるために平坦性、滑りにくい構造を必要とする場合。 ・景観性を重視する道路工事 	
		大和クレス(株) 福岡営業所				
		2401004B	<p>概要</p> <p>メッシュ状繊維で目詰まりしにくい暗渠排水管</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・新技術である暗渠排水管は透水部にメッシュ状繊維を用いており、吸水孔径が大きくなる。 ・シルトが管壁に付着せず浸透水と共に暗渠排水管内へ流入し、目詰まりを起こしにくいいため集水能力が高くなる。 		
	12	マックスドレーン	<p>従来技術と新技術の比較</p> <p><従来技術(フェルト状繊維網状管)> <新技術(メッシュ状繊維網状管)></p>  <p>吸水孔径0.06mm 吸水孔径0.2mm</p>	暗渠排水管(フェルト状繊維使用網状管)		
	太陽工業(株) 九州支店	<p>集水性能比較</p> <p>従来技術 新技術 5年後 従来技術 新技術</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・管直径: 50mm~300mm ・定尺長: 管直径50mm~200mmは20m、管直径300mmは5m ・高盛土や荷重等、比較的大きな土圧や輪荷重が作用する場所でも効果を発揮できる。 ・軽量のため、資材搬入のしにくい山間部や狭隘な箇所でも運搬を容易に行うことができる。 			



1. 基準適合情報

分類1	分類2	No.	登録NO	概要図	新技術の概要		
			新技術の名称		比較対象技術		
			申請者名		適用範囲(比較検討の対象とする条件)		
共通工	軟弱地盤処理工	13	2201002B		<p>本工法は、軟弱地盤対策工法であるプラスチックボードドレーン工法の施工管理の精度を向上させる工法で、従来はドレーン材の自記記録計の目視等に対応していた。本技術の活用により共上り等の施工不良を定量的に把握することが可能となり、高い精度の施工管理と施工性の向上が期待できる。</p>		
			CSDレーン工法		自記記録計の目視等		
			錦城護謨(株)九州支店		<p>軟弱地盤対策として圧密・排水による圧密促進・強度増加を改良目的としたペーパードレーン工法を採用する現場に適用されます。</p>		
	アンカー工	14	東邦地下工機(株)	1602012B		<p>φ90mm二重管式削孔により孔壁を保護しながら、深さ7mまでの鉄筋挿入工が確実に効率的に施工できます。機械が小型軽量なエア駆動削孔方式であるため、作業足場など仮設費用が半減し、コスト縮減に貢献できます。</p>	
				エアークッド工法		ロータリーパーカッション式ボーリングマシンによる削孔	
				機械移動 排水ボーリング工		土質条件が硬岩、軟岩、礫質土、砂質土、粘性土からなる鉄筋挿入工	
	アンカー工	15	(株)ケーティービー福岡営業所	2401002B		<p>本技術は、切土法面等の斜面を安定させる工法として、エポキシ樹脂全素線塗装を行ったPC鋼より線を使用し、防食性能を高めた引張型のアンカー工法である。防食性能の向上により、法面の長期安定化を図ることができる。</p>	
				KTB・引張型SCアンカー工法		従来の引張型アンカー工法	
				<p>エポキシ塗膜</p> <p>より合わせたPC鋼線の表面全体に塗膜を行う</p> <p>エポキシ樹脂全素線塗装</p> <p>⇒ 鋼線毎に防錆処理を行うため接触部からの腐食を確実に抑えることができ、さらにポリエチレン被覆</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・切土法面等でグラウンドアンカーが採用される全ての案件に適用が可能。 ・地下水等があり腐食が進行しやすい環境においては高い効果を発揮できる。 ・温泉地や火山地帯などの高温や弱酸性地盤においては、適用に検討を要する。 	

1. 基準適合情報

分類1	分類2	No.	登録NO	概要図	新技術の概要	
			新技術の名称		比較対象技術	
			申請者名		適用範囲(比較検討の対象とする条件)	
共通工	アンカー工	16	2401003B		<p>本技術は、切土法面等の斜面を安定させる工法として、エポキシ樹脂全素線塗装を行ったPC鋼より線を使用し、防食性能を高めた引張型のアンカー工法である。防食性能の向上により、法面の長期安定化を図ることができる。</p>	
			KTB・荷重分散型永久アンカー工法		<p>従来の圧縮型アンカー工法</p>	
			(株)ケーティービー 福岡営業所	<p>【新工法】 PC鋼線1本毎に塗膜を行う → 鋼線毎に防錆処理を行うため接触部からの腐食を確実に抑えることができ、さらにポリエチレン被覆を行うことで防錆性能を向上させた</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・切土法面等でグラウンドアンカーが採用される全ての案件に適用が可能。 ・地下水等があり腐食が進行しやすい環境においては高い効果を発揮できる。 ・軟弱地盤にも活用が可能。 ・温泉地や火山地帯などの高温や弱酸性地盤においては、適用に検討を要する。 	
基礎工	場所打ち杭工	17	2301003B		<ul style="list-style-type: none"> ・施工機械が小型のクローラ式になっており、分解組立運搬日数が従来技術に比べ短縮でき、かつ自走が可能でヤードが狭くても施工が可能、工程および施工性に優れる。 ・泥水掘削を行わず、水質汚染のリスク回避と汚泥の発生が抑制できるため、環境に優れる。 	
			スーパーロックEXα工法(硬質地盤型)		<p>大口径ボーリング工法</p>	
			中村基礎工業(株)		<ul style="list-style-type: none"> ・施工機械は2種類より構成。 ・掘削長・掘削径 φ350~550 10m以下(20t級) φ450~800 20m以下(35t級) ・掘削可能土質(岩盤等級) 20t級は軟岩Ⅱまでとする。(φ350は中硬岩まで可能)35t級は中硬岩対応可能(φ750以上は軟岩Ⅱまで) ・施工箇所の土質条件に、転石・岩塊玉石・巨礫がある場所は適用できない。 	
コンクリート工	養生	18	2102004B		<p>本技術は多層構造により高保水性をもつコンクリート養生シートである。本技術を用いることで湿潤養生を行いコンクリートの品質を高めることができる。また、高い保水性があり毎日の散水が必要なくなるため施工性の向上も期待できる。</p>	
			コンクリート養生多層シート「CURE-RIGHT」		<p>一般養生(散水)</p>	
			小泉製麻(株) 福岡事業所		<ul style="list-style-type: none"> ・道路・河川・ダム港湾等、コンクリート構造物全般のコンクリート養生時に適用可能。 	







1. 基準適合情報

分類1	分類2	No.	登録NO	概要図	新技術の概要	
			新技術の名称		比較対象技術	
			申請者名		適用範囲(比較検討の対象とする条件)	
コンクリート工	コンクリート打設	19	2202002B	<p>クロロガード荷姿(20kg袋)</p>  <p>施工例</p>    <p>クロロガードの使用量は、コンクリート1m³あたり20~40kg(20kg袋、1~2袋)。 所要の塩化物イオン浸透抵抗性に応じて、クロロガードの添加量を20kg/m³または40kg/m³とする。</p>	<p>クロロガードは、コンクリート練混ぜ時にセメント等の結合材に置換して使用することにより、高い塩化物イオン浸透抵抗性を得ることのできる混和材である。</p>	
			クロロガード		かぶり増厚、エポキシ樹脂塗装鉄筋	
			UBE三菱セメント(株)九州支店		臨海部、河口など、塩害対策が必要なコンクリート構造物全般。	
仮設工	足場支保工	20	2202003B	<p>先行床施工式フロア型システム吊足場(クイックデッキ)</p>  <p>先行床施工式フロア型システム吊足場(クイックデッキ)</p> <p>積載荷重：385kg/m²仕様(「F」型・「S」型：2.5m×2.5m) (積載物の定置搬送が必要な場合)</p> <p>積載荷重：200kg/m²仕様(「F」型・「S」型：2.5m×2.5m) (従来技術と同程度の積載荷重で使用する場合)</p> <p>目録 1. 目録 2. 目録 3. 目録 4. 目録 5. 目録 6. 目録</p> <p>パイプ式吊り足場</p>	<p>高強度チェーンで剛性のある床を吊る技術。間隔の広いチェーンピッチと無段差無隙間の床を実現することで、橋梁の桁下、建築物の天井下等に仮設の作業フロアを構築する。旋回式の組立・解体で安全な架設・撤去が可能かつ無隙間な床を作ること、設置後の下の空間を活かすことが可能。</p>	
			先行床施工式フロア型システム吊足場クイックデッキ		パイプ式吊り足場	
			日線産業(株)福岡支店		<p>・積載荷重が許容積載荷重以内であること。(吊りチェーン間隔2.5m×2.5mの場合2,187kg/スパン、吊りチェーン間隔5m×5mの場合437kg/スパン ※1スパンは2.5m×2.5m=6.25m)</p>	
仮設工	足場支保工	21	2202004B	<p>マルチアングル足場</p>  <p>アンカー構台</p>  <p>日線産業(株)福岡支店</p>  	<p>本技術は、法面工事で安全に作業構台を作る技術で、固定部材がシステム化され、安全性と施工性の向上が図れる。また、作業工数が削減されるため、工程の短縮と経済性の向上が見込める。法面における機械構台足場、災害復旧時の仮設道路などに使用できる。</p>	
			法面作業構台マルチアングル工法		単管パイプ・クランプ及び番線等を用いた足場	
			日線産業(株)福岡支店		<p>・単管足場はじめ、在来工法の作業構台すべてに対応可</p>	

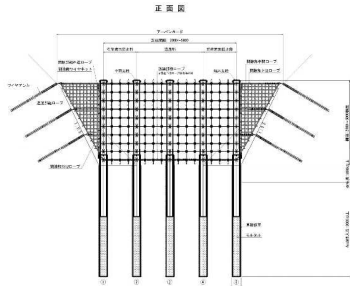


1. 基準適合情報

分類1	分類2	No.	登録NO	概要図	新技術の概要	
			新技術の名称		比較対象技術	
			申請者名		適用範囲(比較検討の対象とする条件)	
河川海岸	多自然型護岸工	22	1602013B	 <p>製品</p>  <p>施工例</p>	<p>スーパーかせんカゴは、ポリエステルを樹脂で被覆補強した線材により、カゴ状や平張用に製作された製品で、軽量でなおかつ酸や塩分に強く、被覆鉄線かごマットよりも安価に施工できる製品である。</p>	
			スーパーかせんカゴ		被覆鉄線かごマット	
			大嘉産業(株) 福岡支店		<ul style="list-style-type: none"> ・河川・海岸・ダム等の護岸工や根固め工、河岸の緑化工、橋脚の根固め工 ・多段積みタイプは、原則として積み勾配1:0.5～1:1.0で、流速6.5m/sまで。 ・スロープタイプは、原則として張り勾配1:1.5より緩い勾配で、流速5.0m/sまで。 	
	袋詰玉石工	23	2101001B	<p>製造から焼却まで</p>  <p>バイオエコサンクネット</p> 	<p>従来から広く使われている袋詰根固め工法用袋材の網地の一部に植物由来ポリエステルを使用。地球温暖化に影響があるとされている温室効果ガスの排出量を削減し、石油資源の節約ができ、環境の向上が図れる。また国交省の袋型根固め工法用袋材の性能規定を満たす品質も備えている。</p>	
					バイオエコサンクネット	石油由来ポリエステル袋型根固め工法用袋材
					大嘉産業(株) 福岡営業所	<ul style="list-style-type: none"> ・河川海岸護岸の根固め工、河岸等の緑化工、河川海岸護岸工、橋脚等の根固め工など (単体の場合) 1t: 約2.7m/sec以下、2t: 約3.0m/sec以下、3t: 約3.2m/sec以下、4t: 約3.5m/sec以下 (群体の場合) 1t: 約4.0m/sec以下、2t: 約4.5m/sec以下、3t: 約4.8m/sec以下、4t: 約5.2m/sec以下
24	2102003B	 	<p>従来技術の築堤マットは、鉄線素材のため錆びや製品が重いといった問題があったが、パワフルユニットは、錆びることがなく、鉄線より比重の小さい繊維を使用することでそれらの問題を改善した。(※一般的な袋型根固め用袋材は波浪の影響を受ける港湾区内では使用出来ない。)</p>			
			パワフルユニット	築堤マット		
			前田工織(株) 福岡支店	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸保全施設の基礎工および砂や中詰め材による摩耗の影響が小さい内海などの静穏な箇所におけるマウンドの被覆や海岸護岸の根固め。 ・河床材(砂礫)の移動により、網地の摩耗が懸念される環境下(河川上流、ダム放流口など)。 ・河川海岸護岸の応急復旧時の土留め工、根固め工ならびに仮設道路の土留め工。 		

1. 基準適合情報

分類1	分類2	No.	登録NO	概要図	新技術の概要	
			新技術の名称		比較対象技術	
			申請者名		適用範囲(比較検討の対象とする条件)	
河川 海岸	-	25	1701009B	 	オートゲート (門柱レス樋門)	<p>オートゲートはフラップ形式にゲートにバランスウェイトを取付け、扉体の開閉力を小さくすることで、水位の変動に合った的確なタイミングで動作する無動力自動開閉ゲートです。従来のフラップゲートの問題点である排水阻害や不完全閉塞の誘発をバランスウェイト機能で解消します。</p> <p>引上げ式ローラーゲート</p> <ul style="list-style-type: none"> ゲートサイズ(扉体面積)で30m²程度 ゲートサイズ(純径間)で8m程度
			旭イノベックス(株) 九州営業所		<ul style="list-style-type: none"> ゲートサイズ(扉体面積)で30m²程度 ゲートサイズ(純径間)で8m程度 	
砂防 工	コン クリ ート 工	26	1702010B	 	BSBブロック 砂防えん堤工法 (INSEM材使用)	<p>砂防堰堤築造工事におけるINSEM工法(砂防ソイルセメント工)において、上下流の外部保護材を現場打ちコンクリートに代え、プレキャストコンクリートブロックを用いたもの。</p> <p>現場打ちコンクリート堰堤工法</p>
			(株) 柏木興産		透過型、不透過型の両方に適用できる。	
		27	1702011B	 	砂防堰堤 ウォール工法	<p>足場や型枠が不要であり、工期の短縮が図れる工法です。上下流の法勾配差があっても天端高さは必ず同じになり、天端の調整手間がなくなり作業性が良くなります。</p> <p>現場打ちコンクリート砂防堰堤</p>
			小倉セメント 製品工業(株)		従来の場所打ちコンクリート砂防堰堤が施工できる工事。	

1. 基準適合情報

分類1	分類2	No.	登録NO	概要図	新技術の概要
			新技術の名称		比較対象技術
			申請者名		適用範囲(比較検討の対象とする条件)
砂防工	水路工	28	2101002B		本技術は、小規模溪流における土石流・流木を高靱性の杭式の支柱と格子状のロープで捕捉する技術。従来はコンクリート堰堤で対応していたが、本技術の活用により大規模な掘削やコンクリート工が不要となり、周辺環境への影響が抑えられ、工程の短縮も図られる。
			アーバンガード		コンクリート式砂防堰堤
			(株)プロテック エンジニアリング 九州支店		<ul style="list-style-type: none"> ・適用範囲は、0次谷等の小規模溪流とする。 ・従来工法では溪床や溪岸の掘削が大規模になってしまう箇所。
舗装工	アスファルト舗装工	29	2302003B		本技術はアスファルト舗装工に寄与する技術である。ひび割れ及びわだち掘れに対する抵抗性に優れ、特に疲労抵抗性が高く、ひび割れが伝搬しにくい改質アスファルトである。切削オーバーレイ等に活用することで、従来よりも舗設後のひび割れ発生を大幅に遅延させ、長寿命化が図れる材料である。
			長寿命化舗装用アスファルト(シナヤカファルト)		密粒度アスファルト混合物(改質Ⅱ型)
			ニチレキ(株)九州支店		密粒度アスファルト混合物(4cm以上)を用いた舗裝修繕工事へ適用が可能。
		30	2302004B		本技術は市街地におけるタックコート乳剤として、冬季施工の路面温度が低い状況でも乳剤と促進剤を同時散布することにより、路面を汚染することなく、早期に次工程に進むことができる。また、分解促進効果により得られる層間接着力が従来技術の1.2~1.5倍と高い効果が期待できる。
			分解促進型タックコート工法(スーパータックゾール工法)		PKM-Tを用いたタックコート工
			ニチレキ(株)九州支店		アスファルト舗装工事におけるタックコート工(専用散布機を用いたタックコート工)

1. 基準適合情報

分類1	分類2	No.	登録NO	概要図	新技術の概要		
			新技術の名称		比較対象技術		
			申請者名		適用範囲(比較検討の対象とする条件)		
舗装工	特殊舗装工	31	2402001B		鉄鋼スラグ特有の潜在水硬性を活用した舗装材料で、適量の散水と重機による転圧を行うことで徐々に固化が進行し、通常砕石と比較すると強度・耐久性の向上が図られ、簡易で安価な舗装材料として、防草対策や林道・農道等に適した製品。		
			カタマ®SP			土系舗装	
			日本製鉄㈱ 九州製鉄所			<ul style="list-style-type: none"> 公園の遊歩道、河川護岸天端の管理用道路などの簡易舗装および防草対策 除草など維持管理費を削減したい場所 	
付属施設	防護柵設置工	32	1602014B	<p>スタンダードタイプ</p>	<p>部材が軽量で取り扱いが容易なポリエチレン製ネットを用いた簡易型落石防護柵。施工性、経済性に優れ、工期も短いため本設はもちろん、仮設安全対策に最適な工法である。</p>		
			イージーネット工法				落石防護柵(ストーンガード)
			(株)ライテク 福岡事務所				
		33	1602015B		優れた曲げ耐力を有したモルタル充填鋼管の支柱を主部材とし、最大1000kJレベルの落石に対応可能な落石防護柵である。		
			ハイパワーロックフェンス(HRF工法)			落石防護柵(ストーンガード)	
(株)ライテク 福岡事務所	<ul style="list-style-type: none"> 現場状況により異なるが、落石エネルギーの適用範囲としては、1000kJ程度まで適用可能。 擁壁上に設置する場合および現地盤に杭基礎として設置する場合に適用可能。 柵高は標準で2.0~5.0m、支柱長は最大12mまで(標準外は別途検討) 						





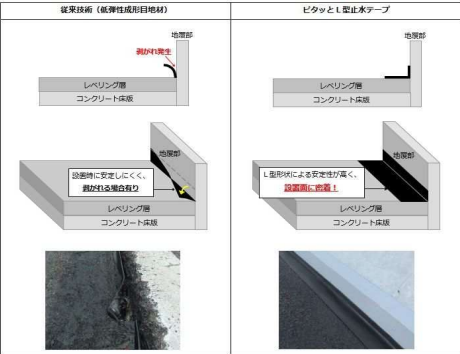
1. 基準適合情報

分類1	分類2	No.	登録NO	概要図	新技術の概要
			新技術の名称		比較対象技術
			申請者名		適用範囲(比較検討の対象とする条件)
付属施設	防護柵設置工	34	1701010B		<p>横ロープに緩衝機構となるビーズリング(緩衝リング)・KT装置(緩衝装置)を設置し、滑車構造で連続された吊ロープとのトリプル緩衝機能により、ワイヤーロープとアンカーへの負担を軽減し、大規模落石エネルギー(E=1200kJレベル)を吸収する落石対策工である。</p>
			ビーズリングーネット(BRN工法)		ポケット式落石防護網
			(株)トーエス 福岡支店		<ul style="list-style-type: none"> ・落石発生の危険度が高い(予想される)斜面 ・落石エネルギーE=1200kJ程度以下 ・工事その他に伴う落石から道路等の保全対象物を保護する必要がある場合。
道路維持修繕工	橋梁補修補強工	35	1601019B		<ul style="list-style-type: none"> ・本技術は、コンクリート構造物に対して高延性補強材を接着剤で貼り付けて耐震補強する工法ある。従来は鉄板巻立工法で対応していた。 ・本技術の活用により、下地処理、現場溶接、揚重作業が不要となる為、工程が短縮され、経済性が向上する。
			SRF工法		鋼板巻立て工法
			構造品質保証研究所(株) 福岡事務所		<ul style="list-style-type: none"> ・既設コンクリート部材全体のせん断耐力および変形能力の向上、段落し部の耐力向上の目的で用いる。 ・部材全体のせん断耐力および変形能力向上の目的で用いる場合は、棒部材においては、一辺の長さ、あるいは直径が3m以下までを、面部材においては、辺の長さが、10m以下までとする。 ・コンクリートは設計強度が40N/mm²程度までの普通強度コンクリートとする。
36	2102005B		<p>橋梁等鋼構造物に用いられている金属溶射を防食下地とした、有機溶剤系塗料による重防食塗装が主流になっているが、無溶剤1液型無機系封孔剤を使用することにより、従来行っている上塗りが必要なくなり、耐候年数が大幅にアップする。溶剤を使用しないことにより、環境にも優しい。</p>		
	SIC工法		金属溶射を防食下地とした有機溶剤系塗料による重防食塗装		
	(株)永照		<ul style="list-style-type: none"> ・新設、既設を問わず、金属溶射の塗装仕様に適用可能。 ・防食下地となる金属溶射は、JIS記載の他、亜鉛・アルミニウム擬合金も適用可能(防食性はZnAl15と同等)。 		

1. 基準適合情報

分類1	分類2	No.	登録NO	概要図	新技術の概要	
			新技術の名称		比較対象技術	
			申請者名		適用範囲(比較検討の対象とする条件)	
道路維持修繕工	橋梁補修補強工	37	2201001B		本技術は、コンクリートの表面保護工の中の表面含浸工に関する技術である。従来工法はケイ酸塩系含浸剤のみの使用であるが、本技術はカルシウム補助剤を併用することで、中性化が進みカルシウムが減少したコンクリートでも、確実にC-S-H(珪酸カルシウム水和物)を生成することができる。さらに湿潤養生が不要になるため、工程が減少する。	
			コンクリート改質・劣化防止剤「カルサプリ」、「リアクトライズ」		けい酸塩系表面含浸剤	
			馬居化成工業(株)福岡営業所		全てのコンクリート構造物に適用する。	
	橋梁補修補強工	38	2302005B		本技術は、橋梁耐震補強工における変位拘束装置とT桁を連結するブラケットである。主桁とクサビ鋼板を配置したブラケット補強板(U-ウェッジフレーム)で挟み込み、主桁とブラケットを接着剤にて定着させて一体化する構造である。	
			ST式桁接着工法「U-ウェッジフレーム工法」		桁定着ブラケット(アンカーボルト式)	
			東京ファブリック工業(株)福岡支店		・既設橋梁(コンクリートT桁橋)の耐震補強工事に適用できる	
	橋梁補修補強工	39	2302006B		本技術は、橋梁補修補強工等において、鋼構造物の素地調整(1種ケレン)やコンクリート劣化部のチップングを行う循環式機能付プラスト工法であり、従来はエアブラストで対応していた。本技術の活用により、ケレンかすから研削材を吸引再利用できるため、産業廃棄物を削減できる。	
			循環式ハイブリッドプラストシステム工法		エアブラスト工法	
			(株)ハットリ工業 福岡支店		鋼橋の全面又は部分塗装塗り替え工事に適合した工法である。	

1. 基準適合情報

分類1	分類2	No.	登録NO	概要図	新技術の概要	
			新技術の名称		比較対象技術	
			申請者名		適用範囲(比較検討の対象とする条件)	
道路維持修繕工	道路除草工	43	1701008B	 <small>施工例1</small>  <small>施工例2</small>	<p>本技術は雑草の発生を防ぐための技術であり、10年程度の耐用年数を持つ防草シートである。従来は対処的に年2回程度の草刈りに対応していた。本技術の活用により、長期的視点での雑草管理の手間の軽減、雑草(産業廃棄物)処分量削減などの効果が期待できる。</p>	<p>除草工(抜根含、年2回、10年分)</p>
			<p>強壮雑草抑止用防草シート「チガヤシート」</p>		<p>・道路路肩、中央分離地などで、定期的に除草を行う必要がある場所。 ・耐用年数が20年程度である防草シートとの比較においては、設置を必要とする期間など現場条件に応じて選定する。</p>	
			<p>(株)白崎コーポレーション グリーンナップ事業部 九州営業部</p>			
		44	2301004B	<p>GUシート製品</p>  <p>シート表面 タフネス加工</p> <p>拡大</p>	<p>本技術は、20年の耐用年数を持つ防草シートの製品技術であり、従来は道路除草工(肩掛式:飛び石防護有り)に対応していた。本技術の活用により、ライフサイクルコストの縮減、安全性、耐久性向上による製品品質、施工性の向上が期待できる。</p>	<p>道路除草工(肩掛式:飛び石防護有り)</p>
			高耐久防草シート「GUシート」	<p>施工事例</p> 	<p>・道路路肩、中央分離帯、施設周りなどで、定期的に除草を行う必要がある場所 ・勾配1割より急な法面は適用できない。 ・耐用年数が10年程度である防草シートとの比較においては、設置を必要とする期間など現場条件に応じて選定する。</p>	
			<p>(株)白崎コーポレーション 九州営業所</p>			
45	2301007B	<p>従来技術との比較</p> 	<p>本技術は、既設舗装や橋梁地覆部に良くなり、接着する事で止水効果を発揮し、且つL型の形状にする事で舗設時の安定性を高めたL型止水テープである。</p>	<p>低弾性成型目地材</p> <p>橋梁地覆部と橋面アスファルト舗装との境界部、一般的なアスファルト舗装の施工ジョイント部。</p>		
	L型安定止水材(ピタッとL型止水テープ)	<p>ニチレキ(株) 九州支店</p>				
	<p>ニチレキ(株) 九州支店</p>					

※最新情報はホームページをご確認ください。